

白山比咩神社略誌

014136-000-8

特16-493

白山比咩神社略誌

横山 政和 / 編

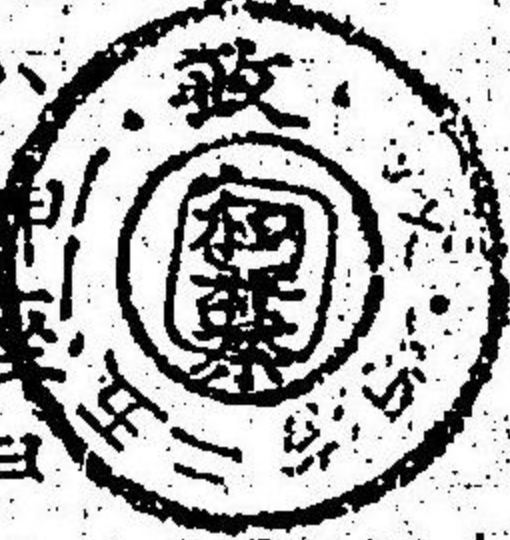
M25

ABB-0411



白山比咩神社略誌

宮司正八位横山致



祭神

三座也中ハ菊理媛神左伊奘諾尊右伊奘冉尊（左右ハ神座ヨリ言フ參詣人ノ望ム方ヨリ言ヘハ此反對ナリ）神階ハ 文徳天

皇ノ仁壽三年十月從三位ヲ奉授アリシヲ始トシ世々奉授アリ

崇徳天皇ノ永治元年八月ニ至テ正一位ヲ奉授セララル

稱呼

上古ハ單ニ白山神社ト稱セシモノ、如シ延喜式ニハ白山比咩神社トアリ今之ヲ用ラル又白山七社トハ白山、金劔、岩本、三

宮、中宮、佐羅、別宮、ヲ云白山、金劔、岩本、三宮、ヲ本宮四社ト

云ヒ中宮、佐羅、別宮、ヲ中宮三社ト云又金劔以下ノ神社ニ對

シテハ白山ヲ本宮ト云ヒ嶺上奥宮ニ對シテハ凡テ下白山七社

ト云又中古白山太神宮ノ稱アリ嘉曆三年ノ古文書ニ出ツ一宮
ト云事ハ白山記ニ加賀分國以前白山ハ越前ノ一宮ニシテ氣比
ハ二宮也弘仁十四年加賀分國ノ時白山ハ加賀ノ一宮トシテ氣
比ハ越前ノ一宮ト成ル由記セリ

鎮座

其始年月諸説一定セス三宮記康永三年白山宮政所牒ノ案文ニ
據レハ 欽明天皇ノ時己ニ此社有シ事明瞭ナリ官社ニ列セラ
レシハ 仁明天皇ノ嘉祥元年勅有テ四十五宇ノ神殿佛閣ヲ造
立セラレ神講田ヲ免セラレ鎮護國家ノ壇場ト被定官營ニ屬セ
ラレタルヲ其始トスヘキカ但先是 文武天皇ノ慶雲三年圭田
百三拾貳束ヲ附セラレシナ(是ハ猶越前ノ一宮タリシ時也)其
始トスヘキカ又ハ始ヨリ官設ノ社ナリシカ今不可考 今上天

遷宮

皇ノ明治四年六月改テ國幣小社ニ被列官祭被仰出即今ノ鎮座
地ハ石川縣加賀國石川郡河内村字三宮ニノ百一番地ナリ
口碑ニ云上古ハ船岡山ノ上ニ在リ其後安久濤ノ淵ノ上ニ遷ル
ト年月説々アリ一定セス 後土御門天皇ノ文明十二年十月十
六日炎焼ニ依テ假ニ三宮ニ奉移長亨二年六月一日三宮寶殿ニ
直座アリ是即今ノ地也

經歷

宇多天皇ノ寛平八年四月七日中納言菅原道真卿ヨリ梅枝糕ヲ
供セラル 三條天皇ノ長和五年七湊ノ御贄ヲ御寄進アリ(中
古小鹽ノ浦ヨリ年貢トシテ和布ヲ奉リタルハ其一ナルヘシ)
後三條天皇ノ延久二年六月廿七日炎焼 近衛天皇ノ久安三
年四月廿八日延曆寺ノ管轄トナル(是ヨリ僧徒漸々夥多ニシ

テ最勢力ナ有シ神官ハ其臣僕ノ如シ。高倉天皇ノ安元二年
 衆徒當國ノ國司近藤師高ト隙アリ治承元年衆徒上京シ延曆寺
 ノ僧徒ト共ニ強訴シ遂ニ師高ヲ流罪ニ至ラシム。後堀河天皇
 ノ安貞元年四月廿九日越後守北條朝時夢想ニ依テ百騎笠懸ヲ
 奉納ス。四條天皇ノ延應元年八月十七日神殿以下廿一字燒失
 後深草天皇ノ建長四年六月廿日夜洪水。花園天皇ノ文保元
 年十月十一日正殿等十字炎燒。後醍醐天皇ノ元應元年三月廿
 九日新殿遷宮式正中二年四月金劔宮ト隙ヲ生シ鬪爭ス翌嘉曆
 元年當國ノ守護富樫孫次郎家明ノ中言ニ依テ和談成ル。後村
 上天皇ノ正平十一年三月洪水ニ依テ宮尻ノ道崩ル。後龜山天
 皇ノ元中元年十一月十九日上棟ノ日。後小松天皇ヨリ勅使ア

リ守護富樫介神劔神馬ヲ寄納シ國民神馬ヲ獻スルヲ百餘匹ニ
 及フ十二月十三日新殿遷宮式。稱光天皇應永卅三年正月七日
 夜炎燒。後花園天皇寶徳二年十一月廿六日新殿遷宮式。後土
 御門天皇文明七年是ヨリ先當國ハ一揆國ト成テ殊ニ本願寺ノ
 威勢強シ是ニ至テ諸社寺ノ免田無沙汰ト成テ當社ノ神事勤行
 殆廢絶ニ及フ。正親町天皇ノ天正八年閏三月織田右府其臣柴
 田勝家佐久間盛政ニ命シテ當國ノ一揆ヲ退治セシム此時當社
 兵燹ニ罹リ長吏澄明等坊官悉ク亡失ス（先是僧徒漸々衰頹シ
 是ニ至テ盡ク神官ハ幸ニシテ兵燹ヲ免カレ存スルヲ得タリ坊
 官ハ其後長吏一名家ヲ繼ク）。後陽成天皇ノ慶長元年藩主前
 田利家社殿ヲ再興ス。中御門天皇ノ享保十六年秋暨十七年春

手取川洪水神田千五百歩ヲ流ス 桃園天皇ノ寶曆十二年九月
長橋局ヨリ御内々御祈禱ノ御奉幣アリ即太麻ヲ獻ス 今上天
皇ノ明治元年三月神佛混淆ヲ禁シ社僧ヲ被廢同廿二年二月十
一日憲法發布奉告ノ勅使アリ

神領

崇徳天皇ノ長承二年十月一日當國ノ國司民部卿九條家顯 鳥
羽上皇ノ院廳ノ御下文ヲ申請テ長日ノ御供料ヲ寄進アリ其四
至ハ東大桑郷ヲ限リ南三馬郷ヲ限リ西大野郷ヲ限リ北玉戈郷
ヲ限リ之ヲ御供田保又木丸保ト稱ス其後木曾義仲右大將頼朝
又當地ノ地頭等世々寄進地アリト雖兵亂ノ爲ニ蹉跌シ遺地ア
ルコトナシ徳川氏ノ時藩主前田氏ヨリ年中ノ祭典費トシテ石川
郡白山宮尻村内塔馬場ニ於テ木參拾參斛參斗ヲ寄進ス 今上

天皇ノ明治七年八月二日白山嶺上奥宮ニ附帶セル越前國大野
郡平泉寺村曾テ徳川氏ヨリ寄附セシ朱印地貳百石ヲ當社ニ屬
セラル其後太政官公達ヲ以テ官國幣社一般ニ定額金ヲ被定神
領ハ廢止セララル

神殿

往古社殿夥多ニシテ枚擧スヘカラス今存スル者本殿（明治七
年ノ建築）祝詞舎（明治十四年新造）鈎殿（同上）中門（明治廿年
新造）拜殿（明治十四年改築）神饌所（明治十一年改造）社務所
（同上）祭器庫（明治十八年新築）手水舎（安政年間ノ建築）

營繕

元正天皇ノ養老二年修營（此時費途官民孰レナルカ不詳） 仁
明天皇ノ嘉祥元年四十五宇ノ殿閣ヲ悉ク官營ニ被屬シヨリ三
十三年毎ニ改造ヲ恒例トス古記録ニ 後堀河天皇ノ嘉祿二年

造替ノ年限ニ當ルト雖宰吏其沙汰ナシ 四條天皇ノ嘉禎元年
十一月ニ至テ國司參議平經高 宣旨ヲ申下シ白山造宮料米一
國平均段別五升ヲ課シ延應元年六月六日上棟トアリ其後世々
造替アリ徳川氏ノ執權ニ及ンテ藩主前田氏ニ於テ營繕ヲ負擔
ス明治維新後官營ニ復セラレ

祭日 徳川氏ノ時年中四十八度ノ祭典アリ近年改正スルヲ左ノ如シ

- 一月一日 新年祭 二日 居入神事
- 三日 元始祭 十一日 舊吉祥祭
- 二月一日 月次祭 五日 古例祭
- 十一日 紀元節祭
- 三月一日 月次祭 十日 祈年祭 奉幣使 參向

- 廿一日 鎮火祭 廿二日 古例祭
- 四月一日 月次祭 廿七日 鎮花祭
- 五月一日 月次祭 四日 舊辰祭
- 五日 舊己祭 六日 例祭 居入神事 奉幣使 參向
- 六月一日 月次祭 十八日 古遷座祭
- 七月一日 月次祭 八日 古例祭
- 八月一日 月次祭 十五日 舊盆祭
- 九月一日 月次祭
- 十月一日 月次祭
- 十一月一日 月次祭 廿三日 新嘗祭 奉幣使 參向
- 十二月一日 月次祭 三十日 舊辰祭

卅一日 除夜祭

此外大祓式遙拜式等他社ニ同シ

區域

中古延曆寺管轄タリシ時區域甚廣シ塔中山代庄五院ハ相野
(江沼郡東谷口村內)温泉寺(同郡山代即今ノ藥王寺)極樂寺(同
郡大聖寺町ノ近傍)小野坂(大聖寺町ノ脇高尾村領)大聖寺(即
今町地)是也中宮八院ハ護國寺(能美郡金野村內字五國寺)昌
隆寺(今不詳)松谷寺(護國寺ト接近)蓮花寺(今不詳)是ヲ南四
ヶ寺ト云善興寺(能美郡中海村字岩淵)長寬寺(同郡同村字中
村)湧泉寺(同郡里川村內字遊泉寺)隆明寺(同郡同村內字立明
寺)是ヲ北四個寺ト云以上八院也三個寺ハ那谷寺(江沼郡那谷
村字那谷)温谷(同郡勅使村內字字谷)榮谷(同郡同村內字榮

谷)是也此外寺院猶多シ此內那谷寺温泉寺二寺ノ外今皆廢絶
ス徳川氏ノ時白山宮尻村內字塔馬場ニ於テ神官十餘名ノ土着
アリ之ヲ社家町ト云三宮村內ニ於テ一人ノ坊官アリ白光院ト
云世世長吏トナル明治維新ニ及ヒ共ニ廢セラレテ境內ヲ左ノ
如ク確定セララル

境內三千八百八十坪

內譯二千二百七坪

千六百七十三坪

種類 官有地第一種

此外猶境外附屬地アリ

平地

岨地

距離

金澤市ヨリ四里拾九町拾六間五尺五寸

鶴來町ヨリ拾貳町八間

野々市村白山比咩神社ノ標ヨリ貳里貳十七町五十間

松任町新道指道標ヨリ貳里三十三町十三間貳尺

寶物

古書ハ白山本宮神職次第(一條天皇ノ寛弘ニ起リ 花園天皇

ノ文保以後ニ至ル)白山記(二條天皇ノ長寛元年ニ編成シ永亨

十一年ノ書寫)莊嚴講錄(土御門天皇ノ承元三年ニ起リ 後奈

良天皇ノ弘治三年ニ至ル日記)三宮記(後伏見天皇ノ正安ヨリ

後小松天皇ノ明德ニ至ル覺書(神皇正統記(北畠准后再撰本

永亨十年ノ書寫)刀劔ハ十振ノ神劔(本阿彌長識ノ審定書ニ三

條宗近、粟田口久國、豊後國行平、大和國保昌貞宗、豊前國神息、

大和國天國、備中國青江吉次、大和國千手院、備前國宗光、古キ

大和物ノ燒直物)行光大太刀(長六尺一寸五分幅一寸六分重五

分五厘中心三尺一寸五分)助真刀(加賀藩主權大納言前田利長

卿奉納)吉光劔(加賀藩主參議前田綱紀卿奉納)備前國長船長

光刀(大聖寺藩主美濃守前田利明奉納)等也又當社ノ狛犬ハ奥

州藤原秀衡ノ寄附也ト云傳フ

物産

植物ハ杉、樺、黄檗、ダモ、カシ、山茶、天蓼、鐵葛、茜草、菟葵、延

胡索、苦菜、等アリ境内ノ櫻樹ハ石川縣書記官徳久恒範ノ寄附

淺黄櫻ハ主典南部祇知ノ寄附神ハ中宮理助ノ寄附ナリ參詣道

ノ櫻暨楓ハ權官司高木有制ノ寄附ニシテ櫻ハ徳久書記官ノ所

植モ交シリ其外寄納樹猶多シ近傍ノ小流中ニ方言河葦カハダト稱ス

ル者アリ明治十六年東京水産會ニ照會セシニ即壽泉苔也ト回

答アリ此流水中ニ方言ハタカスト稱スル四足アル小魚アリ蓋
鱒魚ナラン動物ニハ此魚、暨鶴鴒、ヒタカ、斑鳩、梟、山鶺、深山
少微、アリ又黄領蛇多シ又方言曰バカリト稱スル赤褐色ノ小
蛇アリ蝮蛇多シ

名勝 近傍ノ名勝ハ社殿ノ後ノ高山ヲ月惜山ト云東方月ノ出ル方ニ
當ル西北ノ古城址即船岡山也上古ノ社地也ト云傳フ足利氏ノ
季世當國ノ一揆堡ヲ築キ之ニ據ル前田氏ノ領地ト成テ其臣高
畠石見守定吉ヲ置ク後廢城トナル此山下ニ妙法窟ノ址アリ社
ヨリ北一町許ニ琵琶瀧アリ歌古瀧ハ社ヨリ南十八町餘ノ處ニ
アリ又社ヨリ西北ニアタル手取川上ノ林ヲ安久濤ノ森ト云即
舊社地ニシテ今モ附屬地ナリ森ノ下即安久濤ノ淵ナリ手取川

ノ下流即古ノ比樂ノ湊也古ノ蝶屋荘モ其近傍ナリ

古歌 新古今和歌集卷第十九神祇歌

加賀守めて侍ける時白山に詣たけりるを思出て日吉客人宮
よて詠侍ける
左京太夫顯輔

歳ふとも越の白山忘れけり頭の雪をあられとい見よ

氣候 ハ金澤市ニ比スレハ微シ寒ク雪モ差多シ近年測量セシ大

略ナ左ニ擧ク(華氏檢温器)

寒中 明治十九年 一月十二日正午 二十六度
二十年 一月八日正午 二十八度五
廿二年 一月十九日正午 二十七度
暑中 廿一年 七月卅一日正午 八十八度

廿二年 七月卅日正午 八十五度

宮坂(即參詣道)ニ櫻ノ古樹アリ其花盛ノ候左ノ如シ

十九年 四月十九日

二十年 四月十六日

廿一年 四月十七日

廿二年 四月十九日

廿四年 四月十三日

神官 神官ハ古昔檢校職、執行職、神主職、惣行事、大宮司、等ノ名稱

アリ其人ハ上道、建部、ノ二姓ニシテ上道氏ヲ西神主ト云ヒ建

部氏ヲ東神主ト云上道氏ハ 一條天皇ノ寛弘二年ニ上道氏吉

檢校職ニ被任シヨリ累世連續シ 後水尾天皇ノ元和五年上道

氏弘ノ後其名記録ニ見エズ家モ遂ニ斷滅セシト考ラル建部氏

ハ 花園天皇ノ文保三年大宮司水嶋又五郎(水嶋ハ即建部姓

ノ氏也)ノ名アルヲ記録ニミエタル始トス徳川氏ノ時藩主前

田氏ヨリ職録ヲ受ル者十人アリ之ヲ十神主ト云維新ニ至テ廢

セラル又神人ハ守部、掠、兩氏ナリ而シテ廢絶己ニ久シ後官司

等一般ノ例規ニヨル

社僧 其職ハ七社惣長吏、長吏、院主、大勸進、大先達、勸進、先達、別

當、行事、夏一、承仕、等アリ其結衆ハ莊嚴講、興隆講、泰澄講、

勸學講、堂僧、等アリ七社惣長吏ハ 後堀河天皇ノ嘉祿二年法

橋澄辯ヲ記録ニ見エタル始トス院主以下中世隆盛ヲ極タリト

雖漸々衰滅シ足利氏ノ季世ニ至テ僅ニ長吏一名ヲ存ス維新ニ

際シ遂ニ廢セララル

氏子 即今ノ氏子ハ石川郡河内村ノ内字白山字三宮二个所ナリ

攝社 金劔神社(石川郡鶴來町)箭笠中宮神社(同郡吉野谷村字中宮)

佐羅早松神社(同郡同村字佐良)岩本神社(能美郡宮内村字岩

本)白山別宮神社(同郡別宮村字別宮)大己貴神社(白山嶺上奥

宮境内)別山神社(同上)外ニ三宮アリ今廢絶ス

末社 荒御前神社(境内)日吉神社(同上)大國主神(拜殿内)境外末社

今存スル者加寶神社(能美郡尾口村字尾添)住吉神社(石川郡

河内村字白山)和佐谷神社(能美郡宮内村字和佐谷)弓原神社

(石川郡館畑村字井口)志津原神社(能美郡河野村字廣瀬)雲津

白山神社(能登國珠洲郡鉢崎村字雲津)佐那武白山神社(石川

郡大野湊神社境内)能生白山神社(越後國頸城郡能生)小白山

神社(石川郡笠嶋村字小川)八幡神社(石川郡河内村字八幡)火

御子神社(石川郡藏山村字日御子)西青葉神社(若狹國大飯郡

青郷村字今寺)熱野白山神社(石川郡林村字熱野)成岩白山神

社(尾張國知多郡成岩町)

〔定價金六錢〕

明治二十五年十月十日印刷
同年 同月十日出版



石川縣加賀國石川郡河内村字三宮
二ノ百番一ノ一乙地住

編輯者 横山政和

同縣同國金澤市高岡町三十四番地

印刷者 草野清風

同縣同國石川郡鶴來町二ノ百二十番地

發行者 藏田八十八